



平成 27 年 11 月 6 日

各 位

会社名 株式会社ピクセラ  
代表者名 代表取締役社長 藤岡 浩  
(コード番号 6731 東証第二部)  
問合せ先 取締役 池本敬太  
(TEL 06-6633-3500)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 7 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 27 年 9 月期通期（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円		百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,445	△110	△135	20	1.36
今回修正予想 (B)	2,822	△366	△355	△277	△18.57
増 減 額 (B-A)	△623	△256	△220	△297	
増 減 率 (%)	△18.0	—	—	—	
(ご参考) 前年同期実績	3,012	△500	△557	△492	△38.13

#### 2. 修正の理由

平成27年8月7日の当第3四半期決算短信の公表以降において、新製品の開発遅延やケーブルTV事業者向け製品の販売不振により、売上が予想を越えて鈍化しました。また、リテール製品の販売についても予想を大きく下回ったほか、来期以降に予定していた開発費の償却を当期に行うことにいたしました。その結果、売上高、利益ともに予想数値を大きく下回る見込みとなりました。主な要因は以下のとおりです。

売上につきましては、テレビメーカー向けに開発を行っていた新プラットフォームの開発が遅延したため、これに係る受託開発及び製品の売上が395百万円減少し、また、ケーブルTV事業者向け製品についても、STB製品の販売先在庫が増加したため、出荷が110百万円先送りとなりました。このほか、リテール製品についても、テレビチューナー関連製品への需要が予想どおりには伸びず96百万円減少いたしました。

また、利益につきましては、上記の減収による影響に加え、当初、来期以降に償却予定であった開発費26百万円を今期に一括償却することとなったこと、また、本日公表いたしました連結子会社の株式売却に係る会計処理の修正50百万円を追加で計上したことから損失が拡大いたしました。

なお、平成 27 年 9 月期通期業績の詳細につきましては、平成 27 年 11 月 12 日（木）公表予定の決算短信をご参照ください。

以 上